

INTERVIEW 先輩職員にインタビュー

保健師

保健医療局、福祉局、区役所などで保健・福祉・医療・地域のネットワークづくりや、住民に向けた家庭訪問・健康教育・健康相談などを行います。

令和5年度入庁

南区保健福祉センター
地域保健福祉課



赤ちゃんから高齢者まで
地域と連携しながら
このまちの人を支える

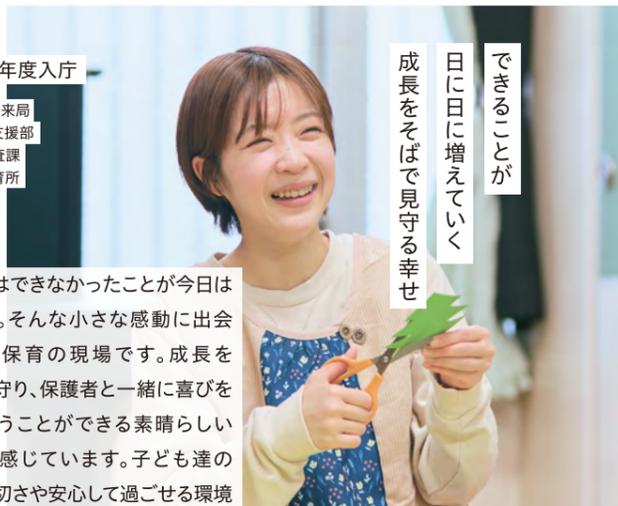
校区担当保健師として市民が安心して妊娠や子育てができ、高齢者が健康に生活できるよう、公民館や地域包括支援センターと連携しながら保健活動に取り組んでいます。イベント開催時には地域で活動する医療・介護事業者にも協力いただくことが多く、前向きに活動される姿にいつも心を打たれています。

保育士

市立保育所、区役所などで子どもの保育に関する業務や子育てに関する相談などの業務を行います。

令和2年度入庁

こども未来局
子育て支援部
指導監査課
馬出保育所



できることが
日に日に増えていく
成長をそばで見守る幸せ

昨日まではできなかったことが今日はできたー。そんな小さな感動に出会えるのが保育の現場です。成長をそばで見守り、保護者と一緒に喜びを分かち合うことができる素晴らしい仕事だと感じています。子ども達の人権の大切さや安心して過ごせる環境づくりを保育士全員で考えています。

獣医師

保健医療局、住宅都市みどり局、区役所などで動物愛護管理等の業務や、環境・食品といった生活の安全・衛生を守り、向上させる業務に従事します。

令和2年度入庁 保健医療局 生活衛生部
食肉衛生検査所

食肉衛生検査所では、安全な食肉を食卓に届けるため、牛や豚を1頭ずつ検査します。その中で、微生物に関する精密検査や食肉市場の衛生管理をすることが主な仕事です。食用に適さない食肉の流通を未然に防いだ時や検査したお肉がスーパーマーケットに並んでいるのを見るとやりがいを感じます。

官民さまざまな組織と関わり
対話を重ねながら
福岡市の未来を支える



MESSAGE 係長からのメッセージ

福岡市職員の仕事は、多くの人や組織と関わりながら進めていくため、意見をまとめることが難しい場面も少なくありません。それでも、対話やディスカッションを重ねることで視野や知識が広がり、自分の仕事が市の発展や人々の暮らしに確かにつながっていることを実感できる魅力的な仕事です。

経歴 平成24年 早良区 保護課
平成27年 教育委員会 職員課
令和2年 財政局 財産管理課
令和7年 経済観光文化局 観光マーケティング課(係長昇任)

社会人経験者も活躍中

令和8年度募集区分

行政(一般・ICT・福祉)
土木、建築、電気、機械、造園

機械

令和7年度入庁
水道局 浄水部
乙金浄水場

平成30年 化学プラントの設備設計工場の技術職
令和7年 水道局 乙金浄水場



市民の暮らしに
欠かせない
誇りを持てる仕事

Q. 福岡市に転職したきっかけは？

知人から福岡市の取組や仕事内容を聞いて、今までの経験を活かせると思ったのがきっかけです。現場では困った時に職員同士で助け合う環境が培われていて、魅力溢れるまちづくりに繋がっていると感じています。

Q. 前職のスキルが活かせていると感じるときは？

以前の職場にもポンプやバルブなどの設備があったので、機械の異音や振動から異常を検知する「現場感覚」が浄水場の安定操業に役立っています。水道や交通など暮らしに欠かせないサービスを提供する仕事は、地域の安全・安心を守る大切な役割を担っており、「安全な水」を安定供給できていることに達成感があります。

行政 (ICT)

令和4年度入庁

市民局
防災・危機管理部
防災推進課

平成22年 メーカーにてシステムエンジニア職
令和4年 道路下水道局 経理課
令和7年 市民局 防災推進課



営業支援のSEから
人々の暮らしを
守る仕事へ

Q. どんなときにやりがいを感じますか？

市民の方々が直接利用する防災関連システムを担当しており、ユーザーとの距離が近く、やりがいを感じています。市民の安全や命に関わってくる分野でもあるので、責任感を持って業務にあたっています。

Q. 転職後に感じたギャップと休日の過ごし方は？

市役所ということで堅いイメージを持っていましたが、普段は想像よりも自由な雰囲気です。ただ、災害対応の際は防災メンバーで協力しながら業務にあたるので、緊張感と強いチームワークを感じます。休日は大濠公園や百道浜をランニングしています。市役所の陸上競技部にも所属し、仲間と練習をしたり、みんなで駅伝に出たりすることも楽しみの一つです。

建築

令和6年度入庁
財政局 アセット
マネジメント推進部
施設建設課

平成20年 鉄道建設事業の技術職
令和6年 財政局 施設建設課



人々の暮らしに
近い場所で
専門知識を活かす喜び

Q. 職場の雰囲気はいかがですか？

同じ建築職の仲間たちに囲まれて、業務上での成功例や気をつけた方がよい点などを互いに教え合いながら仕事を進めることができ、働きやすい職場だと感じています。

Q. 転職して良かったと感じる瞬間は？

市民の顔が見える場所で働きながら、人々の暮らしの利便性向上といった具体的な形で成果が感じられたときです。特に学校などの改修工事では、将来を担う子どもたちがより快適で、安全に学んでもらえる環境づくりに貢献していることが実感でき、やりがいを感じています。

行政 (一般)

平成30年度入庁

福祉局
ユマニチュード推進部
ユマニチュード推進課

平成13年 小売・卸売会社の営業職
平成30年 港湾空港局 企業立地課
平成31年 港湾空港局 分譲推進課
令和3年 総務企画局 国際交流課
令和7年 福祉局 ユマニチュード推進課(係長昇任)



海を渡った
過去の経験を活かして
ユマニチュードを国際展開

Q. 前職の経験が役立っていることは？

違う分野からの転職ですが、福岡市の業務はとても幅が広いので海外での営業など過去の経験が十分に活かせていると感じます。それに、若くしてより活躍できるポジションへと抜擢されている方の姿を見て私自身も刺激を受けています。

Q. 入庁後、特に印象に残っている出来事は？

ユマニチュードの講座を受講した児童から「高齢者施設にいる祖父はこれまで反応がなかったけれど、講座で教わったように目線を合わせて話したら笑顔を見せてくれた」と感想が届いたことです。ユマニチュードは決して難しい技術ではなく、誰でもできるものだとことを実感し感銘を受けました。このような本市の取組を世界に広めることで、国際貢献に繋がりたいと考えています。